綱　領
1．吾々は、社会正義に立脚した良識ある労働運動を通じて吾々の権利を守り、生活の安定と向上をはかる。
2．吾々は、常に暴力と独裁を排し自由にして明朗なる民主的労働組合としての健全なる発展を期す。
3．吾々は、赤十字の民主化と近代化を促進することによって、その人道的任務の達成に寄与する。

日赤新労

昭和63年
5月20日
発　行
第121号

発行所
日本赤十字新労働組合連合会
（日赤新労）
東京都港区浜松町2-2-14
ＫＩビル802
ＴＥＬ(03)433-3028
発行責任者
園部　順

昭和63年度 第１回中央委員会を開催

岡山県倉敷市「下電ホテル」・昭和63年５月９日～10日

63年度ベアの早期決着はかり
各部活動方針を決定

瀬戸内海と完成間もない瀬戸大橋を一望にする絶景の地鷲羽山の麓、『「下電ホテル」』において、五月九日、本年度第一回の中央委員会が開かれ、ベア、各専門部活動等について活発な意見が交わされた。

昭和63年度第１回中央委員会（５月９日～10日）

専門部会を開催

本年度も初日の九日午後二時より専門部会を開き熱心に論議されて、六十三年度の活動方針等が定まりその内容は次のとおりである。

◎組織部会

○各単組組織の内部強化
今日、単組組合員の意識の低下や無関心層の増加が懸念され始めているが、これを打開するため、日赤新労パンフレットを活用し、単組内研修会やレク等を通じて新たなる組合活動を展開し組合員の自覚と意識の向上に努める。

○オルグ活動の強化
未組織施設及び未加入組織へのオルグ活動をしやすくするため、各単組との情報交換や知人の紹介等を積極的に行ない組織の拡大・拡充を図ってゆく。

◎教宣部会

○全国初心者研修会
期日は六月十二日から十四日を予定し、講義内容は、❶組合とは❷綱領・規約❸労働協約❹要求書❺日赤の機構と労働組合二、不当労働行為等について。
❹テーマは一、組合の活性化、

○幹部研修会
本年度も講師を依頼し講演の予定。

○賃金委員会について
職能給についてのメリット、デメリット等を各単組の役員に理解してもらうため、第二回中央委員会より資料を配布して理解を深めてゆく。

中央委員会 議事

九日は八時半より始まり議長団は、議長に白垣武文氏（福岡支部）、副議長に今野雅隆氏（宮城血セ）、書記に国森公明氏（鳥取日赤）を選出し、議事次第に従って進行した。

川出中央執行委員長の挨拶の後、例年は各専門部担当役員より各部報告があるが、本年度は特に大きな問題や報告事項もなく、組織部の内部強化（八戸日赤、芳賀日赤、茨城血セ）についてのみであった。

続いて定期全国大会以降についての一般経過報告があり、これについても満場一致で承認された。

□審議事項□

一、昭和六十三年度ベースアップについて
本年度は国労委提示の一・九九%をたたき台として、二%にどれだけ上乗せするかが交渉の中心となろう。

また四月二十八日、新労働組合員及び家族一万二千名の署名簿をもってベア、四週六休、定年制について本社社長交渉を行い、いずれについてま前向きの回答を得た。

続いて審議の結果、今後のベア交渉は各ブロックとも本部に一任することで決定された。

二、昭和六十三年度夏期手当について
審議の結果、統一要求することに決定し、額は二十二割プラス一律三万円、統一要求は五月十七日となった。また、本年度は夏期休暇七日を同時に要求することに決定された。

三、その他
❶本部会計より連絡第八四七号で要請した本部送納金の組合員数の是正について、増員の回答が非常に少ないので再度ご協力をお願いしたい。
❷本部より、海外の労働事情等についまの視察ツアーを企画することについて意見を求めたところ、その内容、日程、訪問団、費用）にもよると思われるが本部で今後検討することとなった。

◎調査部会

六十三年度の調査事項は次のとおり決定された。
❶四週五休について
夏期手当について
❸各単組の機関紙発行状況について
❹各単組内の研修会について
❺夏期休暇について
なお、追加して欲しい項目があれば第二回中央委員会で提案されたい。

昭和63年度中央委員及び担当部決定

○印は代表中央委員、闘争委員を兼ねる。

〈第一ブロック〉
○大久保文彦　八戸日赤　調査
今野雅隆　宮城血セ　教宣
峰　徹次　福島日赤　組織
一戸秀彰　青森支部　調査

〈第二ブロック〉
○酒井孝一　千葉血セ　調査
伊藤晴康　浜松日赤　教宣
小沼英雄　茨城血セ　調査
阿見秀人　太田原日赤　教宣
萩原　健　原町日赤　教宣
岡安守文　芳賀日赤　組織
相場義之　足利日赤　組織
原沢　健　前橋日赤　組織

〈第三ブロック〉
○加藤正和　名二日赤　組織
伊藤博紀　名一日赤　組織
中沢静夫　飯山日赤　調査
前田伸輔　愛知支部　調査
大嶋敏仁　豊橋血セ　教セ
西尾清政　愛知血セ　教宣

〈第四ブロック〉
○西村和典　大津日赤　組織・教宣・調査

〈第五ブロック〉
○森本　宏　岡山日赤　調査
谷山昭彦　岡山血セ　調査
国森公明　鳥取日赤　教宣
佐賀克巳　徳島血セ　教宣
紙本哲治　三原日赤　組織

〈第六ブロック〉
○宮地妙子　今津日赤　調査
教宣
白垣武文　福岡支部　組織

大作山・泉の森

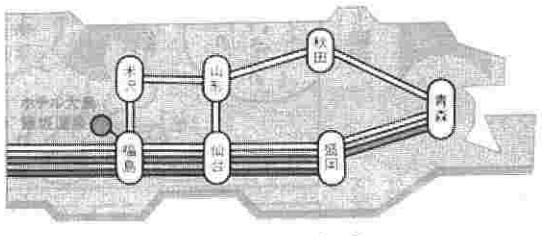
63年度初心者研修会会場ご案内

日時・63年6月12日～14日

福島は文字通り福の国。自然に恵まれ、産物に恵まれた「みちのく」の湯の香かおるいでゆの里、古くから栄えた飯坂は、摺上川と赤川の分れるあたり、緑に囲まれて開けた温泉郷です。

豊富な湯量と、県都福島市に位置する交通の便を得て集結した旅館＝現在百三十余軒と名実共に東北最大の規模。いずれも長い伝統と、充実した設備、心のかようサービスで、ひと味違う落ちついた温泉情緒が味わえます。各単組一人でも多くご参加下さい。

政府登録国際観光旅館　福島市／飯坂温泉
ホテル大島



交通のご案内
●上野～福島（新幹線）　1時間30分
●仙台～福島（新幹線）　30分
●福島駅より飯坂温泉までハイヤー、バス・電車各20分
●山形～福島（奥羽本線）　1時間10分

北から南から

温泉つきのスキーツアーを満喫して

～愛知県支部職組～

総勢45人がスキーツアーを満喫

ウインター・スポーツしませんか!!（夜は温泉で……）の呼びかけで、スキー・ツアーが二月十二、十三、十四日に計画されました。このツアーは今回で第三回目、愛知県支部職員組合主催、愛知県下各施設組合の協力で実施されたものです。

私は最年長では？　との不安ともしかして看護婦さん等女性が多数参加するのでは、という期待で胸をドキドキ、ワクワクさせての参加。私よりも年配の方もみえ、また期待どおり六〇%がヤング・ギャルで非常に楽しく二日間を過ごしました。

十二日夜八時に出発したバスは、中央高速経由、一路平湯温泉・平田館へ。午前二時頃着いて、まず、オジンにもうれしい温泉へドボン!!。檜づくりの湯舟、おまけに露天風呂まであり、女湯との境が節穴つき板塀だったりして…。

翌朝はバスで朴の木平スキー場へ。ここでは支部の奉仕団員であり、スキー指導員、バッジテスト検定員である先生に参加者が受講し、午後はバッジテストを受け、多数の人がワイワイと、二級だ!!三級だ!!とがんばっていました。ゲレンデが広く雪質もギシギシと大変すばらしく、あっと言うまに四時半の集合時間。

夜は楽しい大宴会、四施設のみなさん、日頃知らない人も、この時ばかはワイワイと有意義に親睦を深めたわけです。

中には昼間のつかれもなんのその、部屋で更に宴会の延長戦のグループもあったようですが、私めは親睦・親睦と言いつつ早くもダウン。

最終日は近場の平湯温泉スキー場。ここはゆるやかなスロープで、下まで直滑降でもOK？この頃には初心者も堂々のすべりを披露し、ついつい笑顔でウフフ!!

楽しかったスキーも終り、最後のドボンを楽しみ、各々土産品を集め、ついにバスは帰途についたのでした。バスの中はビデオを観る人、グウグウ高いびきの人それぞれ。今回の参加者は第一日赤三人、第二日赤二十人、三人、豊橋センター六人、支部七人、奉仕団員四人、指導の先生二人の合計四十五人。事務の人、電話交換の人、看護婦さん、検査のみなさんの参加でした。（愛知県支部職組・前田）

露天風呂ツアーへ寒い冬は混浴？で

～岡山従業員組合～

〝露天風呂で雪見酒を〟のキャッチフレーズで恒例となりました岡山従組露天風呂ツアーは、昨年に引き続き本年も大好評のうちに実施しました。

正月気分も鎮静した一月二十三日(土)、二十四日(日)の両日、総勢六十七名の老若男女は二台の大型バスに分乗して、鳥取県は三朝温泉へ。

中国山脈に入ると雪が無い散り、雪の珍しい岡山県人にとっては、いやがうえにも温泉ムードがいっぱい。夜の宴会へと夢をつなぐ。期待の混浴はあったのか、なかったのか写真で判断を願います。

残念なことは予算の都合で来年はできないことです。

（岡山従組福利厚生部長・明石四郎）

〝混浴〟でなく残念でした

鳥取県献血ルーム「湖山」がオープン

～鳥取赤十字血セ職組～

昭和六十三年三月二十四日、大学生を対象にPRして来ました。業務二名、ドクター一名、ナース二名の五名でオープンしました。

全国的な傾向でありますが、県内でも若年層、特に高校生の献血ばなれが著しく、高校生、大学生を対象にPRして来ましたが成果が上りませんでした。

オープンした鳥取県献血ルーム「湖山」

丁度一県に一ルームを本社より要望もあり、また移動採血車の年間二千五百本の献血減を補足するためにも、市の中心から四km位はなれた文教地帯に三高校と一大学があり、学生を対象に献血ルームを開設となりました。

一日平均一般親血二十本、成分献血三本の目標でオープンしましたが、PR不足と、その上駐車場の狭い理由もあり、現在まで三月平均十本、四月平均十一本でわずかずつの伸びはあるものの、まだまだ目標本数に向って、いかにPRしていったら良いかセンターの今後の課題のようです。良いアドバイスよろしくお願いします。（鳥取赤十　字血液センター職組）

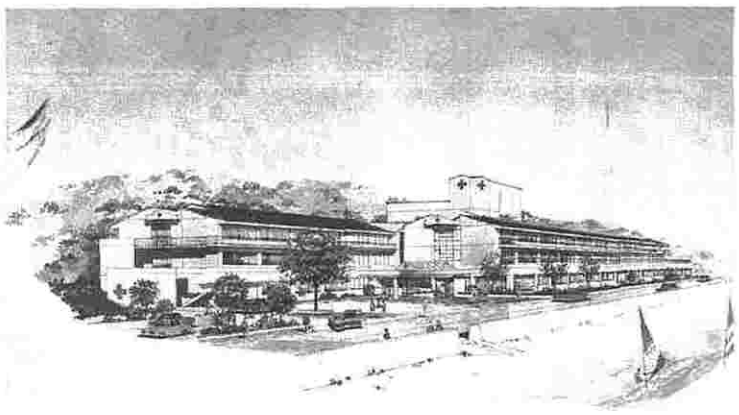
新今津赤十字病院が落成式を迎える

～今津赤十字病院労組～

昭和六十一年六月に起工式が行われ新築に向って進んで来ました。第一期工事、第二期工事を経て、今年四月九日、本社社長及び県知事、市長等多数の来賓を迎え、当日は前日の雨模様が嘘のような晴天に恵まれ、盛大に落成式が行われました。現実共に今津赤十字病院は、今後期待される九州初の老人センターとしきスタート致しました。

今考えると、昔の古い建物もなつかしいような気が致しますが、今後の今津の発展と職収一同の幸保を、博多湾に浮かぶ真の赤な朝日が祝保しているかのように輝いていました。

（今津赤十字病院新労組）



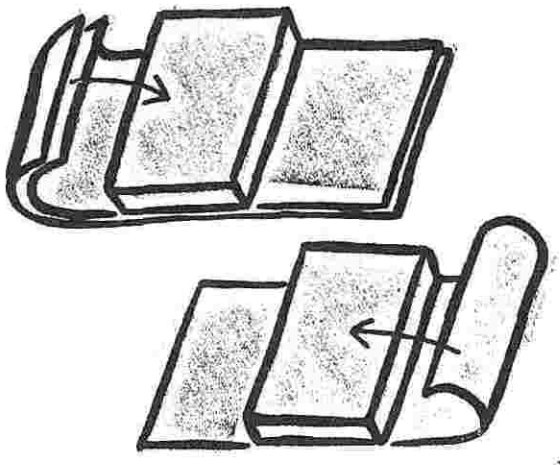
✚新今津赤十字病院(老年病センター)

落成した新今津赤十字病院

生活の知恵

〈牛乳の意外な利用法〉

こんな時には、牛乳を柔らかい布につけ、観葉植物の葉をみがいてやってください。ツヤがでてきて、そのうちにピカピカになります。牛乳に油性分が含まれているので、ワックスとおなじ効果があるのです。もちろん葉が傷むようなことはありません。定期的にこの牛乳ワックスをかけてやるだけでも鮮やかな緑が楽しめるというわけです。



〈真心を包む包み方〉

贈り物にはいろいろとタブーがあるので要注意。病気見舞いには鉢植やシクラメン（死と苦に通じる）やつばきなどは絶対に持っていってはいけません。お茶は弔事だけに限られています。柳も苦死に通じると縁起をかつぐ人もいます。数量は、慶事なら奇数、弔事なら偶数とするのが通例です。但し、4や9の数は避けるようにします。

また、改まった贈り物の包み方はも慶事の場合は奉書紙を二枚重ねにして、左から折って、右をかぶせます。弔事は一枚の紙で慶事と逆に右から折りまかつぐ人もいます。数量は、慶す。

6月のこよみ

○…水無月（みなづき）。1日写真の日、気象記念日、電波の日、男女雇用機会均等月間。同法が施行されて一年。一般職、総合職に分けるという新しい差別も生まれています。4日虫歯予防デー。5日環境週間（～11日）、10日時の記念日。12年新体操ソウル五輪代表選考会。17日陸上日本選手権兼ソウル五輪代表選手会、競泳ソウル五輪代表選考会。19日父の日。父親の権威が落ちてきています。毎日仕事で夜遅く、休日はゴロ寝では、ただ稼ぐ人になってしまいます。21日夏至。23日沖縄慰霊の日。25午水泳飛び込みソウル五輪代表選考会。26日国連憲章調印記念日。

○…「人は皆衣など更へて来りけり」（正岡子規）。六月は学校などの制服を夏肥に替える所が多いようです。三月、静岡県の中学校で校則違反を理由に卒業アルバムから顔写真が除かれました。臨教審では、ゆとり、国際化、個性を伸ばす教育をうたっていますが、生徒を厳しい校則、制服でしばることをさしているのでしょうか。

○…梅雨入りは平年並みになりますが、地方によっては空梅雨になりそうで、水不足が心配されそうです。

ミー子&ハー子

小菅りや子